



福島県立郡山北工業高等学校

同窓会報

第61号

2011



機械科	建築科	電子科
電気科	情報技術科	化学工学科

CONTENTS

会長あいさつ	2
校長あいさつ、新会員のことば	3
平成22年度同窓会定期総会報告	4
支部だより	5~6
特集 NC旋盤寄附受納について 技能五輪全国大会「旋盤」 選考会に出場して	7
母校近況 (生徒会だより、部活動大会成績報告)	8
母校近況(進路状況)	9
平成21年度決算報告・会務報告	10
平成22年度同窓会役員名簿・一般寄付者名	11
第11回北嶺祭 ゴルフコンペ・事務局だより	12

郡山北工HP <http://www.koriyamakita-th.fks.ed.jp/>

定期総会のお知らせ

■平成23年度定期総会を下記のように開催いたします

- 日 時 / 6月25日(土) ●午後5時00分より 総会
●午後5時50分より 懇親会
- 場 所 / ホテルハマツ 郡山市虎丸町3-18 ☎024-935-1111
- 会 費 / 5,000円(平成22年度卒業生は3,000円)

※詳細については事務局へお問い合わせください
同窓会事務局(郡山北工内) TEL.(024)932-1199 FAX.(024)935-9849
※同封の振込取扱票通信欄の総会参加費に○をつけて参加費を納入して下さい

- | | | |
|--|--|---|
| ■東京支部総会
●日時 / 平成23年6月4日(土)
●場所 / 上野精養軒(予定) | ■水戸支部総会
●日時 / 平成23年11月26日(土)
●場所 / グランドホテル武田(予定) | ■日立支部総会
●日時 / 平成23年7月上旬
●場所 / 日立市 東暁館(予定) |
|--|--|---|

会長あいさつ 「自分の道」

同窓会会長 増子久治



同窓会会員の皆様にはご健勝にてご活躍の事と心よりお慶び申し上げます。また常日頃より、本校や同窓会に対し物心両面にわたりご協力・ご指導いただいております。会員の皆様、さらに多くの同窓会会員を育てられた恩師の皆様衷心より感謝申し上げます。

さて、昨年の日本経済は、長く続いた不景気から脱却を感じさせる気配があり期待をしましたが、ギリシヤに端を発した経済不安は短期間で世界を駆け巡り、特に日本の通貨は急激に円高が進み輸出産業に深刻な影響を与えました。その結果、国内の多くの下請け関連企業が打撃を受け景気回復にブレーキがかかった状

態であります。さらに今年は、エコ減税等による景気回復も期待できず、逆に昨年の駆け込み需要の反動が懸念されま

す。本校の創立時の目的は工業人の育成でありました。さらに戦後復興に伴いそれらに対応できる技術者・技能者の育成でもありました。このように本校は社会から期待され創立された学校です。しかし、優秀な人材が卒業しても当時の郡山市や福島県には受け入れられる企業が少なく大部分の皆様は関東方面で活躍されました。先輩諸氏の活躍は本校の発展の礎となりました。一方、現在の日本において、熟年技術者が韓国や中国といった海外へ職を求めて流出するといふことが起きています。まだまだ国内で通用する技術と頭脳を持ったベテランが、定年等を機に海外に活路を求め流出するのは考えさせられます。これは日本の損失と申し上げ

たいところです。

新たに同窓会会員となられた皆さん。同窓会を代表し心より歓迎を申し上げます。郡山北工で学び培った3年間は人生全体で考えると短時間でありませぬ。しかし、人生の基礎となる最も大事な時に、多くの友をつくり、学習に部活動に励み、さらには修養を積んだことは貴重な財産であります。今日まで皆さんは、保護者の愛情のもと多くの教職員

の指導により守られ成長してきました。これからは自身自身の努力で道を切り拓かねばなりません。いつまでも人の力を借りるのではなく自分の力で前進してください。今から48年前、私は郡工定時制の電気科1年生でした。その時、国語の授業で高村光太郎の詩『道程』に感銘を受けました。「……僕の前に道はない、僕の後ろに道は出来

る。あぁ 父よ 僕を一人立ちにさせた父よ……」この詩に感銘を受け、「自分もこのように生き方をしよう」との強い思いがあったからこそ、今

の私が存在するのです。

すでに目の前にある整備された道ならば歩きやすい。しかし、曲がりくねってでも自分で造った道を歩むことが大切なのです。そして時にはこの曲がりくねった道を振り返り、新たな道を思索することも肝要なのです。

4月から実社会へ旅立つ皆さん。皆さんを受け入れてくださった多くの企業や団体は、皆さんに期待しております。学校で学んだ事は個々の一握りの基礎知識であります。これからは、これらの基礎知識を応用し発展させるとともに、専門的な技術・技能を身につけ、そして一人前の社会人・工業人に成長していただきたい。途中、失敗や挫折といった様々な壁に直面するかもしれません。その時は先程述べたように、自分の道は自分で切り拓くしかありません。失敗を周りのせいにするのは本末転倒であります。

また、より高度な知識や学問を修得するために進学される皆さん。皆さんは長い時間と多額の費用を保護者の皆様

に掛けるわけですから、安易な考えでなく将来の日本を背負うくらいの気概を持って臨んでください。さらに学んだことが社会の役に立つよう心掛けていただきたい。

皆さんが郡山北工同窓会の一員として、規範となるよう願ってやみませぬ。

現在、同窓会会員の皆さんは日本中で活躍しております。会員の方々と会われた時には気楽に声を掛けてください。場合によっては良きアドバイザーになつてくださると思っております。私も同窓会会員の一人として協力して参りたいと考えております。

最後に会員各位および関係者の皆様の益々のご活躍とご健勝、そして本校と同窓会のご発展を祈念し結びと致します。



校長あいさつ

「期待にこたえる北工生」

校長 兼田 信男



同窓会の皆様方には日頃から母校に対してご支援・ご協力を賜り、心からお礼と感謝を申し上げます。

まずは現在の母校の概況からご紹介いたします。

少子化に伴う学級減は昨年度で終わり、今年度は各学年とも機械科二クラス、電気科、電子科、情報技術科、建築科、化学工学科各一クラス、計二十一クラスになりました。昭和五十二年の本校創立時は全日制三十クラス、定時制六クラス、計三十六クラスでしたから、教室などにずいぶん余裕が生まれました。空き教室などは、選択科目の授業やT・T（チームティーチング）など有効に活用しております。

しかし、施設の有効利用という点では教育の方面から見てプラスの効果がありますが、一方、生徒減に伴って生徒会

費やPTA会費、生徒会部活動後援会費などには収入減というマイナスの効果があります。今後はそれぞれの活動にじわじわ影響が出てくるかも知れませんが、同窓会におかれましても同じ悩みかと存じます。

次に特筆すべきトピックスをご紹介します。

平成二十年度に電気部の生徒が全日本学生児童発明くふう展に応募しましたが、その作品（電気工事の際に出る廃電線をビニール被覆と銅線に自動的に分離する装置）が本大会の最高賞である「恩賜記念賞」を受賞しました。続く二十一年度に応募した作品（大小様々なサイズのたぐきさんのネジが混在した状態のものを、振動させた坂を転がすだけで自動的に種類別に分別する装置）も全国大会で「内閣総理大臣賞」を受賞しました。この発明品は二十二年にベトナムのハノイで開催された世界青少年発明工夫展にも出展され、最高賞の「世界的所有権機関(WIPO)賞」と「香港発明協会特別賞」に輝きました。発明者一人のうち遠藤君

が代表でハノイへ派遣され、実演や説明のほか各国の青少年と交流もしてきました。二十二年度は、使い古しの自在箒をブラシとスチームを使って新品同様に再生する装置で応募し、福島県大会で「県知事賞」を受賞しました。さらに、全国工業高等学校長協会主催の技術アイデアコンテストに応募したところ「理事長特別賞」を受賞しました。

また、県高校ロボット競技大会において、コンピュータ部が六連覇を達成しました。しかも一位から三位までを独占する快挙です。全国大会では惜しくも入賞こそ逃したものの、昨年の「特別賞」に続いて今年も「技術賞」を受賞しました。

さらに、高校生ものづくりコンテストでは、毎年各部門に、県大会を経て東北大会に代表を送り出しています。今年度は、旋盤部門で東北大会に優勝し、全国大会にも出場した機械部の生徒が、技能五輪全国大会旋盤選考会に出場して健闘しました。

その他にも紙面にご紹介しきれない様々な生徒たちの活躍があります。何れも「ものづくり」に貢献する人材育成を担う工業高校にふさわしい活躍であり、たいへん嬉しく思っております。

さて、平成二十二年度は三年に一度の学校祭である「北嶺祭」が盛大に開催されました。おそらく同窓生の皆様にとりましても、修学旅行と並ぶ大きな思い出の一つではないかと思えます。幸い天候にも恵まれ、二日間にわたって大勢の市民や高校生・中学生の皆さんに来ていただきました。そして、本校教育の一端や本校生の活動の様子を見たり体験したりしていただきました。北嶺祭の開催に当たっては、同窓会の皆様にもいろいろとご支援・ご協力をいた

いただきました。大変ありがとうございました。紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

終わりに、母校においては今後とも社会でとりわけ工業界で活躍できる人材育成に力を注ぐつもりです。同窓会の皆様には、新会員としての二百七十三名の卒業生をどうか温かく迎えてくださいますようお願い申し上げます。また、卒業生諸君には一日も早くそれぞれの分野で先輩と肩を並べて活躍できるように精進されるようお願いさせていただきます。

新会員のことは



化学工学科
小石 沢 光

今年から、私達は郡山北工業高等学校同窓会に仲間入りさせていただきます。この学校を卒業し、それぞれの道を歩んで行く私達にとつて嬉しくもあり不安な事もたくさんありますが、郡山北工の同窓生として、これからの後輩達のためにも自信と誇りを持つて歩んでいきたいと思えます。

昨今、就職活動が困難で明るい話題がなかなか聞かれない

い中でも、我が郡山北工の生徒が次々と内定をいただけたのは、すばらしい伝統を残されてきた先輩方の活躍と厚い信頼があったからだと思います。

これから私達は同窓会の会員として皆様にお世話になるわけですが、まだまだ未熟者で分からないこともたくさんあり、時には戸惑うことも悩み迷うこともあると思います。そのような時は先輩方の教えと伝統を思い浮かべ、一つ一つ乗り越えて行き自分の目標に向かって努力していきたいと思えます。

皆様方の温かいご指導ご助言、よろしくお願いいたします。

支部だより

東京支部



東京支部長
八代英昭

平成23年の新しい年を迎え、同窓会会員の皆様のご健勝を、心よりお慶びを申し上げます。昨年1年を振り返ると、わが国の経済は基本的に回復基調にあったものの、回復ビツチは鈍化するという状況で推移いたしました。

世界経済においてアジアの一部の国では経済成長率が伸びているなかで、日本はなかなか回復しない状況が続くばかりか、ますます悪化しているようにさえ感じております。その一例が「超」氷河期と呼ばれております就職内定率の低下であります。内定率が60%を切る状況で、卒業はしたけれど就職先の内定が取れない時代が続いております。にもかかわらず、政治の混迷が深まっていることが続いており、案件の審議が進まずに景気回復策が取れていない状況です。一刻も早く内定率が回復する時代になってもらいたいと願っている一人でありま

す。

さて、東京支部の現況であります。前任の小澤満支部長が体調不良により支部長を退任されましたので、臨時役員会が開催され、初代でありました小野寺昭支部長から数えて四代目として私、八代英昭が昨年8月初めに就任いたしました。今後とも宜しくお願いいたします。

昨年の本部総会時に伺いましたが、卒業生全体で23,000名を超し、その内半数以上が北工でありました。その際、以前は各学年10クラスあったのが現在は7クラスに減少したと聞き、少子高齢化が進んでいるのを実感いたしました。

東京支部におきましても、東京地区への就職者が少ないためか、会員数が増えずどちらかと言えば減少している状況であります。個人情報保護法による卒業生の住所把握が困難であることもひとつの原因かもしれません。

東京支部会員数は、昨年度のデータでは1,212名と一昨年度と同じであり、出身は郡工出身が約70%、西工出身が約20%弱、北工出身が約10%強となっております。また、在住は東京都、神奈川県、

埼玉県、千葉県にまたがり、比率では、神奈川県が約400名で33%、埼玉県が約320名で26%、東京都が約280名で23%、千葉県が約220名で18%と、神奈川県と埼玉県で半数以上の約6割となっている状況です。

東京支部の総会は2年に1度の開催で、今年は開催年となります。今から役員会等を開催して準備してまいります。東京支部継承のため役員の一部の変更と共に、若い方や女性にも役員になっていただき、総会での参加者の増員を図りたいと思っております。別添で開催日、開催場所等を掲載いたしますので、会員皆様のご参加をお待ちしております。

最後になりますが、母校と同窓会の益々のご発展とご繁栄と共に、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

日立支部



日立支部長
丸山 正一

平成23年の新しい年を迎え、同窓会会員の皆様のご健勝を、心よりお慶びを申し上げます。日立製作所および日立関連会社の現役所員およびOBの

方々で構成されている日立支部は、昨年は日立製作所創業百周年という節目を迎え、新たな次の百年に向かって飛躍して行こうという年でした。そのような節目の年にあたり、現役の方々一人一人も、グローバル化に対応して仕事を進めて行くという厳しい状況が続いた一年だったと思います。そんな会員同士のコミュニケーションを深める意味で、日立支部としても同窓会活動を進めてきました。現在、日立支部は会員数81名(内OBの方30名)で同窓会活動を展開しております。現役の方々はその職場の方々も職場の中核で活躍され多忙な日々を送られております。従いまして同窓会活動のメインは、支部総会、本部総会への参加が中心になっております。特に活動のメインとしています支部総会、毎年開催を実現し会員相互の交流の場を継続していくよう努力しております。そのような状況下にある日立支部の、平成22年度の活動状況の一端を報告させていただきます。

①日立支部総会の開催

今年度は7月3日(土)日立市の東曉館にて実施致しました。当日は兼田校長先生をはじめ、同窓会本部から増子同窓会本部長、東京支部から八代事務局長、水戸支部から八代支部長他、

多数のご来賓の方々に参加いただき開催いたしました。総会第一部では、一年間の活動方針と計画に関する内容を討議いたしました。第二部の懇親会では、来賓の方々によるご挨拶および母校の状況報告をいただき、更には各支部の状況についてもご紹介いただきました。同窓会の会員は、若手の入会が少ない状況もあり、平均年齢が年々上がっていく状況にありますが、特にOBの方々には多方面にわたる活躍をされており、その活気が伝わってくる明るい懇親会となりました。また普段は出来ない故郷の話など、会員同士が昔にタイムスリップしたような時間を過ごせることは、このような機会ではないと出来ないことも



平成22年度北工同窓会日立支部総会
2010.7.3(土)東曉館

平成22年度 同窓会定期 総会報告

平成22年6月26日(土)午後5時から、郡山ビュートホテルに於いて、平成22年度郡山北工業高等学校同窓会定期総会が127名の参加を得て開催されました。

古川弘同窓会副会長の言葉で同窓会定期総会を開会しました。



「会長の挨拶」

出席の方々に御礼があり、出席者が例年よりも少ないように感じられるが、年に1回の総会で旧友に会える喜びを話されました。

郡山工業高校、郡山西工業高校、郡山北工業高校の3校が集まった同窓会がこれから如何にあるべきかを話されました。

「……青春時代に同じ教室で一緒に学び、遊んだ友人が来ていると思いますので、そのみなさんと一緒に、有意義な時間を過ごしていただきました。」

と思います。……また今日は、「安積」について少し考える時間を持ちたいと思い、私が尊敬する七海皓英（ななみこうそう）先生に講演をいただきましたと思います」とアトラクションについて話され、挨拶を終えました。

兼田信男校長より、同窓会定期総会に対してお祝いの言葉をいただきました。

次に、「最近の本校をご紹介したいと思います。昭和52年に旧郡工、旧西工が統合され郡山北工としてスタートし、すでに30余年が経過しております。当初1学年10クラス、全校で30クラスという非常に大きな工業高校として、また恵まれた施設設備環境の中でスタートしましたが、ご承知の通り少子化が進み、1学年7クラス、全体で21クラスになりました。当初の3分の2程の大きさになりました。ひとまわりスリムになりました。現在830名の生徒がおります。そのうち女子が60名程になります。……」

また、「現在、本校は福島県教育委員会が指定した、専門高校活性化事業に取り組んでおります。機械科を中心としたCAD・CAMについての研究、さらに建築科を中心とした省エネ、釘を使わず再利用可能なエコハウスの研究を行っています。部活動に関しては、3月にソフトボール部

が全国選抜に出場しております。……これらの活躍を披露申し上げます」と述べられました。

最後に、同窓会総会を祝して話を結びました。

「支部長代表の挨拶」
各支部を代表して水戸支部の八代正雄支部長よりご挨拶をいただきました。

「水戸支部は、昨年の12月で結成50周年を迎え、11月に結成の総会と記念誌発行を行いました。顧みますと昭和34年12月、日立支部から独立し、山崎支部長を選出しました。当初9名で、総会等の事業を行い活動して参りました。10周年には34人、20周年には60人に拡大しました。まとまりをもつために、6ブロックに分け、各ブロックで責任をもつて活動を行って参りました。30周年には50人と減少し、40周年には53人、50周年には、残念ながら36人と減少しました。これも、日本の高度成長に比例し、現在に至っております。

水戸支部は、10年単位で記念誌を発行しております。皆さんの思い出を小冊子にまとめて発行しております。総会は2年ごとに開催し、出席率を60%台にキープしております。今後も支部の活性化を図り、活動していきたいと思っております」と話されました。

最後に、北工同窓会の益々の発展とご参会の皆様方のご健勝を祈念し話を結びました。

「議長・書記任命」
事務局一任となり、阿部昇二事務局長より、議長には北工54年度建築科卒の田母神一吉氏と郡工48年度建築科卒の宗像恭一氏、書記には北工61年度電子科卒の笹島貞夫氏が提案され承認されました。

平成21年度庶務報告は、柳沼善久前事務局長より総会資料に沿って行われ、会務報告、新会員報告がなされた後、質疑を経て拍手を持って承認されました。平成21年度決算報告は、舩山卓也前事務局会計士による会計監査報告の後、質疑を経て拍手を持って承認されました。



「議事」

平成22年度事業計画案は、阿部昇二事務局長より提案され、質疑を経て拍手を持って承認されました。平成22年度予算案は、高橋由美事務局会計より提案され、質疑を経て拍手を持って承認されました。

続いて、事務局より①平成22年度人事異動に伴う職員の変更動に付いて②一般寄付の御礼とお願いの旨が皆様にありました。

伊勢野敏雄同窓会副会長の開会の言葉の後、増子久治同窓会会長の挨拶、兼田信男校長の挨拶、来賓祝辞を代表して同窓会相談役の植田英一様、PTA会長古川利満様よりご祝辞をいただき、日立支部長丸山正一様の乾杯のご発声により懇親会に入りました。

また、多くの参加者で開催されたゴルフコンペの表彰式も行われ、参加者は和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。最後に古川弘同窓会副会長の言葉で懇親会を閉じました。

熊田晃大同窓会副会長の言葉で同窓会定期総会を閉会しました。

「アトラクション」
増子久治同窓会会長より、郡山の歴史家である七海皓英先生が紹介され、「安積について」と題し、安積の国ができた時代や、静御前の話など興味深い講演がありました。

七海皓英氏による講演



七海皓英氏による講演

「懇親会」

伊勢野敏雄同窓会副会長の開会の言葉の後、増子久治同窓会会長の挨拶、兼田信男校長の挨拶、来賓祝辞を代表して同窓会相談役の植田英一様、PTA会長古川利満様よりご祝辞をいただき、日立支部長丸山正一様の乾杯のご発声により懇親会に入りました。

進路状況

高校生が輝けば 社会が明るくなる

進路指導主事 遠藤 仁一

今年度は昨年度に引き続き就職難といわれ、就職をする生徒にとっては非常に採用が厳しい年でした。その中でも、本校は求人票を昨年より多くいただき、今年の上旬現在、就職内定率が99%と高く、ほとんどの生徒が企業から内定をいただいております。こうした好成绩を上げた一因に、北工の卒業生の方々のそれぞれの職場での活躍が認められているためだと思われま。就職ばかりだけでなく、進学をした卒業生の成績も良く好評を得ております。こうした実績は本校の在校生にとって大きな財産となり、就進学に大きな影響を及ぼしています。

近年各種の調査により、日本は青少年は学習や将来への意欲が低下しているとの結果が公表されています。生活の満足度はあっても自己肯定感が低く、疲労感・不安感・孤独感が強い傾向にあるようです。その中でも日本の高校生は、「自分だけ日本人」と感じている割合が韓

国・中国・米国と比較して最も高い値となっています。特に中国の高校生は12・7%、日本の高校生は65・8%であるものの差ははっきりとしています。日本の高校生は自分にもっと自信を持たなくてはなりません。自信を持つためには肉体的・精神的に健康であり、そして様々な経験をしていくことだと思います。

本校では運動部・文化部の活動が盛んで様々な実績をあげております。また資格取得では、各種国家資格や検定試験に多数合格し、「ジュニアマイスター顕彰」における獲得人数は昨年度同様、東北2位となりました。「高校生が輝けば社会が明るくなる」この標語が富久山地区内に表示されているのを存じですか。毎日見ながら登校している生徒もいるかと思えます。高校生が社会を活性化させるキーパーソンであるのです。地域の方々は高校生の活躍を期待しているのです。活躍といっても実績のある活躍でなくとも構いません。生き生きとして、何事にも元気に振る舞う高校生の姿が輝くのではないのでしょうか。



進学

平成23年1月17日現在

学科	進路先
機械	福島大学
	宇都宮大学
	日本大学
	日本工業大学
	国土館大学
	いわき短期大学
	テクノアカデミー会津職業能力開発校
	テクノアカデミー郡山職業能力開発短期大学校
	仙台医療技術専門学校
	国際航空専門学校
	太田看護専門学校
	東日本航空専門学校
	日産自動車大学校
	福島医療専門学校
電気	いわき明星大学
	金沢工業大学
	東京理科大学
	日本大学
	日本工学院専門学校
電子	ケイセンビジネス公務員カレッジ
	日本大学
	国際武道大学
	テクノアカデミー郡山職業能力開発短期大学校
	日本工学院専門学校
	ケイセンビジネス公務員カレッジ
	郡山健康科学専門学校
	会津大学

学科	進路先
情報技術	金沢工業大学
	いわき明星大学
	城西大学
	日本大学
	福島学院大学
	テクノアカデミー郡山職業能力開発短期大学校
	音響芸術専門学校
	国際アート&デザイン専門学校
	東北電子専門学校
	ヤマハ管楽器テクニカルアカデミー
	国際メディカルテクノロジー専門学校
	東京デザイナー学院
	ケイセンビジネス公務員カレッジ
	国際情報工科大学校
建築	東北工業大学
	日本大学
	神奈川工科大学
	関東職業能力開発大学校
化学工学	日本工学院専門学校
	日本工業大学
	日本大学
	東北福祉大学
	郡山女子大学短期学部
	福島学院大学短期学部
	仙台医療技術専門学校
	東京コミュニケーションアート専門学校
	仙台ペット専門学校
	日本調理技術専門学校
福島医療専門学校	

進路内定状況

福島県立郡山北工業高等学校進路指導部
平成23年2月7日現在 ()は女子内数

平成23年2月7日現在	機械科1組	機械科2組	電気科	電子科	情報技術科	建築科	化学工学科	全体	
在籍数	38 (0)	39 (0)	38 (0)	40 (1)	39 (6)	39 (3)	40 (14)	273 (24)	
就職希望者数	28 (0)	22 (0)	30 (0)	29 (1)	14 (2)	31 (2)	18 (7)	172 (12)	
就職内定数	県内	21 (0)	13 (0)	18 (0)	25 (1)	10 (1)	9 (0)	111 (8)	
	県外	6 (0)	7 (0)	10 (0)	4 (0)	2 (1)	21 (2)	53 (4)	
	公務員	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	4 (0)	
縁故・自営等	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	
合計	28 (0)	22 (0)	30 (0)	29 (1)	13 (2)	31 (2)	18 (7)	171 (12)	
就職未定者数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	
進学希望者数	10 (0)	16 (0)	8 (0)	11 (0)	24 (4)	8 (1)	20 (7)	97 (12)	
進学合格者数	大学	4 (0)	8 (0)	5 (0)	7 (0)	11 (1)	5 (0)	9 (1)	49 (2)
	短大	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	4 (3)
	訓練校等	1 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	8 (0)
私立専門	4 (0)	5 (0)	3 (0)	3 (0)	10 (3)	1 (1)	6 (2)	32 (6)	
合計	10 (0)	16 (0)	8 (0)	11 (0)	22 (4)	8 (1)	18 (6)	93 (11)	
進学未定者数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (1)	4 (1)	
その他	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	4 (0)	
総計	38 (0)	39 (0)	38 (0)	40 (1)	39 (6)	39 (3)	40 (14)	273 (24)	

産業別内定状況

科	機械		電気		電子		情報技術		建築		化学工学		合計	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
農業01														0
建設06-08		1	4	2	1				4	12				9
製造09-32	33	9	12	3	20	1	7	2	5	2	14	3		91
電気ガス33-36			1	2				1						1
情報通信業37-41														0
運輸通信42-48		3			2	1				2	1			2
卸・小売49-60	3		1		2	1	2		1					9
金融・保険61-67														0
不動産業68-69										1				0
飲食・宿泊70-72										1				0
医療・福祉73-75														0
教育・学習支援業76-77														0
複合サービス事業78-79										1				1
サービス業80-94			1	1	3				1					4
公務95-96									1	1				2
分類不能の産業99														0
合計	37	13	19	11	27	2	9	4	12	19	15	3	119	52

NC旋盤寄附受納にJCSN

昨年(2020年)の2月、株式会社ミヤノの齊藤佳春社長が、本社移転(長野県から福島県へ)に伴い佐藤雄平知事を訪問された際、「この期に本県の工業教育に是非役立てていただきたい」とNC旋盤の寄贈を申し出られました。この時、「本校OBが大変頑張っているので郡山北工さんに受納していただきたい」との希望がありました。

本校ではこの連絡を受けて、年度末の慌ただしい中、教育庁施設財産室と打ち合わせを重ね、必要設備の敷設と消耗品を購入し、3月29日に旧環境システム科一階の実習棟にNC旋盤を搬入しました。また、年度初めの多忙期にもかかわらず、営業本部の安藤輝男様(本校OB、平成2年度機械科卒業)より、本校で3日間、取り扱いに関する講習会も開催していただきました。

(株)ミヤノ様からは、すぐにでも切削できるようにと、現在手仕上げ実習で製作している文鎮のツマミと2年の旋盤実習で製作している豆ジャッキのネジ棒のプログラム、そして必要工具も付けていただきました。ありがとうございました。

5月27日(木)、本校において関係者と新聞社をお招きして、NC旋盤の前で感謝状贈呈式を開催しました。贈呈式では齊藤佳春社長よりご挨拶を頂戴し、その後、兼田信男校長より感謝状の贈呈が行われました。

今後本校では、単体での実習のみならず今年度末に導入される「3次元CAD/CAMシステム」の実機として連携させ、新学期より実習展開できるようにと準備しております。興味のある方は、いつでも見学に来て下さい。

機械科 服部 誠司

注：株式会社ミヤノは2011年4月1日よりリチズンマシナリーミヤノ株式会社に商号が変わります



【搬入の様子】



【BNC-34S6】

技能五輪全国大会 「旋盤」選考会に出場して

平成22年8月3日に、横浜市鶴見区の東部総合職業技術校で開催された技能五輪全国大会「旋盤」選手選考会(通称「学生予選会」)に、本校機械科3年の坪井勇磨君が挑戦しました。この選考会は技能五輪の中で最も出場選手が多い旋盤職種のみ開催され、全国の工業高校と職業訓練校から18名が参加し腕を競い合いました。課題(下図)は、1級技能検定より難易度が高く、4つのねじ切り、3つのローレット、偏心加工等、制限時間4時間で3点の部品を製作して各部品の所定寸法、組み立てた時の所定寸法(5ヶ所)、外観等で審査され、上位3名が選考されます。本校には会場と同機種の旋盤が無く、坪井選手は練習時より手間取りましたが、何とか3時間39分で完成宣言して課題を提出しました。

後日通達の結果は残念ながら「選考外」となり、技能五輪出場を果たすことはできませんでしたが、目標こそ達成できませんでしたが、本校生にとつては新たな第一歩を踏み出し、手応えを感じて、今後の道しるべをつかむことができました。

競技会場には企業の技能五



初めて加工した時は、7時間を要した



【査閲する坪井選手】

輪指導者が視察に来られ、本校OBでボッシュ(株)の藤田友則様(S54年度機械科卒)より激励の言葉を頂戴することができました。ありがとうございました。

北工生の挑戦はつづく……

機械科 服部 誠司

生徒会だより

今年度の生徒会活動状況を報告します

生徒会顧問 山田 浩一

今年度も高校総体や県総体、新人大会等で多くの部活動が上位大会へ出場し(すべての運動部が県大会へ出場)大活躍いたしました。詳細は大会成績報告をご覧ください。

四月には対面式や部活動紹介、生徒会総会を行い新入生を迎えました。七月には今年で三十四回を数える校内球技大会が行われました。今年も天候があまり良くはありませんでしたが、多くの生徒が自分たちで、早朝からグラウンド整備などを行い、すべての競技を行うことができました。今年の球技大会は昨年までと異なり、学年の枠を取り払い、真の校内一位を争って大変盛り上がり、多くの競技で白熱した試合が展開されました。九月には生徒会役員改選が行われ、新生徒会長には化学工学科2年の佐藤巧真くんが就任し、総勢十二名のメンバーで新たなスタートを切ることになりました。十月には三年に一度の文化祭、第十一回「北嶺祭」が開

催されました。生徒みんなが朝早くから夜遅くまで、一生懸命に準備をしている姿に感動を覚えました。各々が趣向を凝らし本当に楽しい北嶺祭となりました。二千人以上もの多くの方々に来校していただき、とても楽しんでいただけたと思います。アンケートの結果は大成功でした。

東北旅一第850号・福島県知事登録第2-102号

(有)東北観光ツーリスト

(貸切バス・旅行企画募集)
各手配・レンタカー

福島県郡山市並木4丁目1-1
TEL:024-938-8577 FAX:024-938-8579

印刷会社の ヨシダコーポレーションです。

■ISO 14001.....2003年6月25日取得 ●FSC認証紙
●大豆油インキ ●水なし印刷
■FSC (CoC) 認証 ...2005年1月20日取得

●総合印刷 ●マルチメディア ●ビジネスソリューション
**株式会社
ヨシダコーポレーション**
〒963-0724 福島県郡山市田町上字北川田22-1
TEL.(024)942-0005(代) FAX.(024)942-2233
URL http://www.media-yoshida.co.jp

平成22年度 部活動大会成績報告

H23.2.5現在 上位成績を記載

全国大会

- ・ソフトボール部
全国高等学校総合体育大会 2回戦
- ・弓道部
全国高等学校総合体育大会
全国高等学校弓道大会 出場 白岩晃樹
- ・コンピュータ部
全国高等学校ロボット競技大会 3チーム出場
技術賞 (第10位)
- ・機械部
高校生ロボット相撲全国大会 ベスト16 橋本孝法 渡邊翔平
技能五輪全国大会「旋盤」職種選考会 出場 坪井勇磨

東北大会

- ・水泳部
東北高等学校新人大会 (競泳) 出場
東北高等学校選手権大会 (競泳) 出場
東北高等学校選手権大会 (飛込) 男子総合優勝
大浪真之介 結城 翔
- ・ラグビー部
東北高等学校大会 (兼NHK東北高等学校選手権大会) 第7位
- ・機械部
全日本ロボット相撲東北大会 第6位 橋本康平 白石雄基
- ・吹奏楽部
全日本マーチングコンテスト東北大会 銀賞

県大会

- ・バレー部
福島県高等学校体育大会 第3位
- ・山岳部
福島県総合体育大会 (山岳リード競技) 第3位 藤田拓海
- ・柔道部
福島県高等学校新人体育大会 男子個人戦73kg級 第2位 影山久晃
- ・水泳部
福島県高校体育大会 (競泳) 200mバタフライ第3位 岡部翔太
福島県高等学校新人体育大会 (競泳)
100m・200m背泳ぎ 第2位 橋本将也

地区大会

- ・陸上競技部
福島県陸上競技選手権大会県南大会
男子棒高跳 第2位 遊佐尚弥 男子走幅跳 第3位 木目沢佑輔
福島県高等学校新人体育大会県南地区大会
男子棒高跳 第2位 遊佐尚弥 男子混成競技 第3位 森合光成
- ・サッカー部
福島県高等学校体育大会県南地区大会 優勝
県南地区高等学校サッカーU-17秋季大会 準優勝
- ・ソフトテニス部
福島県高等学校インドアソフトテニス大会県中地区予選 準優勝
- ・テニス部
福島県総合体育大会 少年男女の部 県南地区大会
男子Ⅱ部シングルス 第1位 渡辺 翼
男子Ⅱ部ダブルス 第2位 渡辺 翼 鈴木裕也
- ・弓道部
福島県南高等学校秋季大会並びに
福島県高等学校新人体育大会 県南地区予選会
男子個人競技 第1位 内田雄太

- ・水泳部
福島県高校体育大会県南地区大会 (競泳)
100m背泳ぎ 第2位 200m背泳ぎ 優勝 小山烈輝

その他

- ・高校生ものづくりコンテスト東北大会
電気工事部門 第4位 熊田貴大
- ・福島県高校生ものづくりコンテスト2010
旋盤作業部門 第2位 武田直人
電子回路組立部門 第3位 熊田諒介
- ・電気部
2010世界青少年発明工夫展 (ベトナム・ハノイ開催)
WIPO Award (最高賞) 遠藤啄郎 熊田貴大
福島県発明展 福島県知事賞 會田光陽
コンピュータ・アイデアコンテスト パソコン利用技術部門
優秀賞 會田光陽
高校生技術・アイデアコンテスト全国大会 理事長特別賞 會田光陽

平成21年度 決算報告

1 収入総額 4,337,256円 2 支出総額 4,071,292円 3 差引残額 265,964円

1.収入の部

項目	予算額	決算額	増減額	備考
繰越金	273,276	273,276	0	平成20年度からの繰越金
入会金	1,680,000	1,680,000	0	入学生280人×¥6,000
会費	1,878,000	1,878,000	0	卒業生313人×¥6,000
会誌広告料	240,000	219,895	△20,105	11社
一般寄付	240,000	285,750	45,750	
雑収入	524	335	△189	預金利息
合計	4,311,800	4,337,256	25,456	

2.支出の部

項目	予算額	決算額	残額	備考
基本金	355,800	355,800	0	入会金・会費総額の1割
会議費	400,000	385,225	14,775	三役会 幹事会
事務費	40,000	33,230	6,770	事務用品等
慶弔費	50,000	42,847	7,153	香典等
通信費	1,570,000	1,436,442	133,558	会報(60号)発送費等
旅費	280,000	273,660	6,340	本部 東京 日立 水戸
会誌編集費	700,000	668,640	31,360	会誌(60号)印刷
渉外費	60,000	54,800	5,200	関係機関との交渉諸費
卒業生諸費	200,000	199,307	693	卒業記念品 会長費
事務局費	50,000	45,690	4,310	事務局会費
北嶺祭	0	0	0	学校祭補助
支部助成金	130,000	130,000	0	東京・日立・水戸
学校案内助成	50,000	27,825	22,175	学校案内印刷
総会費	350,000	343,240	6,760	総会補助
予備費	76,000	74,586	1,414	総会補助、慶弔補助
合計	4,311,800	4,071,292	240,508	

3. 差引残額¥265,964 は次年度へ繰り越します。

平成21年度 基本金報告

定期預金(～20年度)	4,919,120 円	定期預金
平成21年度基本金	355,800 円	定期預金
合計	5,274,920 円	

平成21年度会計監査報告

平成22年4月2日の監査の結果、異常のないことを認めます。

会計監査 加藤 和 大
柳 沼 幸 代
笹 山 志 昭

平成21年度 会務報告

年月	行事名	内容等	場所
H21 4. 8 17	平成21年度入学式 第1回 幹事会	会長、副会長、出席 平成21年度定期総会について	学校 ホテルハマツ
5. 29	第1回 三役会	平成21年度定期総会について	龍宮城
6. 6 6. 12 6. 27	東京支部総会 第2回 幹事会 日立支部総会	会長、教頭、事務局 計3名出席 平成21年度定期総会チケット回収等 会長、校長、事務局 計3名出席	上野精養軒 電宮城 日立市
7. 4	平成21年度定期総会		ホテルハマツ
9. 3	第2回 三役会	定期総会決算報告および新幹事の委嘱について	直雅
9. 25	第3回 幹事会	平成22年度定期総会会場について 定期総会反省会 同窓会報60号について	郡山ビューホテル
11. 20 11. 28	第4回 幹事会 水戸支部総会	今後の活動方針について (平成22年度定期総会、同窓会報の内容等について) 会長、教頭、事務局 計3名出席	ホテルハマツ ひたちなか市
H22 2. 26 28	同窓会報(60号)発行 同窓会入会式	顧問、会長、副会長 出席	学校
3. 1 3. 15 4. 2	平成21年度卒業式 同窓会報(60号)発送 会計監査	会長、副会長 出席 平成21年度会計監査	学校 養老乃瀧

平成21年度までの卒業生総数

福島県立郡山工業高等学校 昭和19年4月～昭和52年3月	福島県立郡山西工業高等学校 昭和38年4月～昭和52年3月	福島県立郡山北工業高等学校 昭和52年4月～平成22年3月
全日制 機械科 2,570名 電気科 852名 電子科 741名 建築科 1,114名 工業化学科 565名 定時制 機械科 357名 電気科 222名 建設科 140名 産業科 74名	全日制 機械科 1,114名 電気科 1,059名 化学工学科 999名	全日制 機械科 3,496名 電気科 2,359名 電子科 1,305名 情報技術科 1,233名 建築科 1,307名 環境システム科 501名 化学工学科 2,339名 工業化学科 83名 定時制(平成14年3月閉課程) 工業科 167名 機械科 207名 電気科 184名 建設科 32名
小計 6,635名	小計 3,172名	小計 13,213名
合計 23,020名		

職員異動報告 (平成22年度)

転入者

No.	氏名	教科等	前任校
1	高梨 哲夫	教 頭	川俣高校
2	柳田 陽一	国 語	田村高校
3	高澤 和彦	社 会	清陵情報高校
4	小野 泰宏	数 学	安達高校
5	今井 康貴	保 健 体 育	新採用
6	渡邊 美穂	保 健 体 育	
7	橋本 貴子	英 語	萌世定時制
8	我妻 和夫	機 械	福工定時制
9	渡辺 典夫	機 械	川俣高校
10	関根 宏	電 気	喜多方工業高校
11	近藤 清彦	電 気	尚志高校
12	木船 健二	電 子	白河実業高校
13	佐藤 恒夫	電 子	福島工業高校
14	明珍 雅友	電 子	大笹生養護
15	小泉 浩	情 報 技 術	清陵情報高校
16	伊藤 明子	情 報 技 術	
17	大越 忠士	建 築	福島工業高校
18	佐藤 正道	化 学 工 学	会津工業高校
19	大河原 茂	化 学 工 学	会津工業高校
20	根本 敏江	養 護	職場復帰
21	鈴木 昇一	事 務	施設財産室

転退職者

No.	氏名	教科等	転出先
1	森川 章夫	英 語	退職
2	遠藤 節子	家 庭	退職
3	七海 清夫	化 学 工 学	退職
4	甲賀 重寿	電 気	退職(逝去)
5	佐藤 喜栄	電 子	退職
6	真船 博美	数 学	退職
7	飯塚 誠	建 築	退職
8	宮田 健児	環境システム	退職
9	本間 隆	建 築	退職
10	菊池 晃	教 頭	福島工業高校
11	松本 史歩	国 語	萌世通信制
12	阿部 高英	社 会	橋高校
13	矢内 典行	保 健 体 育	須賀川桐陽高校
14	茂木 政弘	環境システム	福島工業高校
15	江原 進	機 械	福島工業高校
16	平栗 吉勝	環境システム	福島工業高校
17	鈴木 稔	電 気	相双教育事務所
18	根本 純夫	電 子	平工業高校
19	小森 拓史	電 子	白河実業高校
20	大森 宏昭	情 報 技 術	清陵情報高校
21	澁谷 栄一	情 報 技 術	教育庁
22	村山 彰一	化 学 工 学	会津工業高校
23	並木 福生	環境システム	埼玉工業高校
24	赤坂 京子	養 護	安積高校御館分校
25	岡崎 典男	事 務	福島工業高校

平成21年度 新会員報告

科	人 数
機 械 科	80名
電 気 科	40名
電 子 科	36名
情 報 技 術 科	39名
建 築 科	40名
環 境 シ ス テ ム 科	40名
化 学 工 学 科	38名
合 計	313名



本格派中国料理
龍宮城

代表取締役社長 橋本 正喜
(昭和42年度機械科卒)

安積店/〒963-0107 郡山市安積4丁目38
TEL(024)946-3171 FAX(024)946-3107
西ノ内店/〒963-8022 郡山市西ノ内1-13-9
TEL(024)939-4649 FAX(024)939-4655
http://www.ryuguijyo.jp
E-mail info@ryuguijyo.jp

●送迎バスもありますのでご相談下さい。

平成22年度 同窓会役員名簿

役職	氏名	勤務先名	卒校	年度	科
相談役	植田 英一	前県議会議員			
顧問	渡辺 達英	(有)渡達	郡工	24	機
顧問	滝田 孝太郎		西工	42	電
会長	増子 久治	田村通信防災工業(株)	郡工	42	定電
副会長	古川 弘	(有)古川弘建築設計室	郡工	40	建
副会長	伊勢野 敏雄	(株)うすい百貨店	西工	43	電
副会長	熊田 晃大	荒牧建設(株)	北工	54	建
監事	加藤 和夫	(社)福島県計量協会	郡工	26	機
〃	柳 沼 幸代	八光建設(株)	郡工	51	建
〃	笹山 忠昭	ヒツマテリアル(株)	北工	53	機
幹事	落合 弘		郡工	32	機
〃	佐藤 実	佐藤実建築設計事務所	郡工	33	建
〃	石田 秀夫	東北化学工業(株)郡山工場	郡工	39	定機
〃	渡辺 俊彦	(有)郡山中央レンタカー	郡工	40	定機
〃	渡辺 千尋	あさか開成高等学校	西工	43	化工
〃	柳 沼 隆夫	郡山市議会議員	西工	45	機
〃	佐久間 保一	結建築研究室	郡工	46	建
〃	今井 久敏	福島県議会議員	西工	46	機
〃	宗像 恭一	アトリエ・アー級建築士事務所	郡工	48	建
〃	中村 弘		西工	49	電
〃	柳 沼 信一	(有)県南通信サービス	西工	49	電
〃	竹中 広之	(有)竹中電気	郡工	50	定電
〃	大内 菊夫	山崎製パン(株)郡山営業所	郡工	51	定電
〃	大原 英雄	(株)ワークサポート	北工	53	化工
〃	今泉 恵一	(株)PMCテクニカ	北工	54	機
〃	田母神 一吉	(有)テクノス	北工	54	建
〃	影山 春男	白河実業高校	北工	56	電
〃	浦井 照夫	福島工業高等学校	北工	59	機
〃	國道 美行	二本松工業高等学校	北工	59	機
〃	渋谷 健夫	(有)シブヤ	北工	62	機
〃	今泉 健太郎	(株)香設計	北工	1	建
〃	高村 幸恵	(有)桑原工務店	北工	6	建
〃	千葉 祐子	大明通産(株)東北支店	北工	6	建
〃	小林 吉行	(有)ウエルコスモ	北工	6	建
〃	小林 剛	(有)ワタナベ建築	北工	7	建
〃	橋本 直樹	本格中国料理 龍宮城	北工	9	機
運動部常任幹事					
サッカー部幹事	佐藤 伸宣	関彰商事(株)	北工	61	化工
ソフトテニス部幹事	高橋 雅	ソニーエナジー・デバイス(株)	北工	18	機
ソフトボール部幹事	柳 沼 一成	学校法人 尚志高等学校	北工	7	子
バレー部幹事	国分 常弘		北工	53	建
企業内支部					
支部長	菅井 貞夫	(株)シダコーポレーション	西工	46	化工
〃	橋本 孝行	石橋工業(株)	郡工	50	機
〃	宗像 文雄	(株)エディソン	郡工	50	電
〃	青木 博泰	林精器製造(株)	北工	52	機
〃	平栗 俊昭	郡山ビューホテル(株)	北工	52	工化
〃	竹石 真一	(株)ヤマキ電気郡山事業所	北工	53	電
〃	本田 昇意	コマツ福島(株)	北工	54	機
〃	橋本 政夫	(株)ザイン	北工	55	機
〃	岩崎 洋一	ハマツ観光(株)	北工	61	建
〃	三本 木 寛	(株)朝日ラバー泉崎工場	北工	62	機
〃	郡司 昌幸	田村通信防災工業(株)	北工	11	電
クラス代表幹事					
H18代表幹事	安齊 健太	(株)エヌケー製作所	北工	18	環境
〃	関川 大輝	日本電産コバルト(株)	北工	18	機
H19代表幹事	松岡 直道	AGCエレクトロニクス(株)	北工	19	情
〃	矢吹 良昭	松下電工(株)	北工	19	機
H20代表幹事	石山 寛仁	日本大学工学部	北工	20	建
H21代表幹事	佐藤 良輝	三菱電機(株)コミュニケーション郡山工場	北工	21	子
〃	服部 晃久	住軽エンジニアリング(株)	北工	21	環境
同窓会支部長					
東京支部長	八代 英昭	(株)京三製作所	郡工	36	子
日立支部長	丸山 正一	(株)日立製作所	郡工	48	電
水戸支部長	八代 正雄		郡工	34	電
同窓会事務局					
事務局 局長	阿部 昇二	郡山北工業高等学校	郡工	51	子
事務局 次長	本田 文一		北工	52	子
〃	船山 卓也		北工	1	電
会計	高橋 由美		北工	63	化工
事務局 員	田母神 三知夫		郡工	43	機
〃	熊田 志郎		郡工	49	工化
〃	佐々木 郁雄		西工	50	機
〃	柳 沼 善久		郡工	51	子
〃	笹島 貞夫		北工	61	子

平成22年度 一般寄付者名

ご寄付ありがとうございました 敬称略 あいうえお順

氏名	卒年度	科	氏名	卒年度	科
秋葉 史裕	旧職員	福島市	佐久間 島江	郡41機B	郡山市
阿部 茂	郡42子	茨城県	佐藤 進一	郡27機	郡山市
安藤 喜勝	西42電B	須賀川市	佐藤 富重	旧職員	富岡町
猪狩 次夫	旧職員	福島市	関 勝彦	郡40機定	千葉県
石井 茂	郡29機	茨城県	膳所 博美	郡42子	三重県
石井 敏男	郡35電	神奈川県	高木 洋一	郡29機	埼玉県
伊藤 孝雄	郡31機	郡山市	高原 三郎	郡27機	愛知県
井上 安邦	郡40建	神奈川県	武田 徹	旧職員	福島市
植木 薫	郡43電	東京都	田中 良夫	郡41機	栃木県
遠藤 隆尚	北9電	神奈川県	丹治 勇	郡28機	郡山市
遠藤 秀泰	郡25機	新潟県	成田 進一	北3工業定	郡山市
大野 鎮夫	郡33機	神奈川県	根本 源太郎	旧職員	石川町
折笠 和	郡44工化	千葉県	橋本 勝彦	郡40機定	茨城県
柏倉 秀雄	郡22機	東京都	長谷 沼恒一	旧職員	喜多方市
加藤 正吉	郡38電	茨城県	平岡 信榮	郡41機B	本宮市
兼田 正男	西46電B	神奈川県	増子 久治	郡24電定	郡山市
北原 正三	旧職員	福島市	松本 英夫	郡28機	埼玉県
黒坂 亨	北54建	郡山市	村田 正作	旧職員	郡山市
小池 勝衛	郡34機	神奈川県	八代 正雄	郡34電	茨城県
小池 征男	郡34機B	茨城県	山崎 功	郡29機	茨城県
小池 芳光	郡27機	神奈川県	山ノ井 敏夫	西40工化	千葉県
古宮 敏雄	郡38子	東京都	吉田 太一	郡51子	田村市
小山 良一	郡33建	神奈川県	吉田 豊	郡36機	神奈川県
齋藤 卓二	旧職員	郡山市	渡辺 孝雄	郡37機	郡山市
齋藤 重千代	旧職員	福島市	渡辺 正	北58電	田村市
坂本 守	郡35機	郡山市	渡辺 正春	郡48建	千葉県

H23.1月末現在

一般寄付のお礼とお願い

会報の発送に併せて一般寄付のお願いを致しましたところ、52名の皆様より寄付を頂戴致しました。誠にありがとうございました。寄付金は同窓会運営のために有効に使わせていただきます。

時代の趨勢から寄付金は減少傾向にあります。このような状況ですので、尚一層のご協力を賜りたいと存じます。本年度も同窓会会員の皆様ならびに旧教職員の方々にご協力を賜りたく、郵便払込取扱票を同封させていただきます。ご寄付の際は、払込取扱票の金額欄、通信欄およびご依頼人の欄に必要な事項をご記入のうえ、郵便局(ゆうちょ銀行)にて払い込み下さるようお願い致します。

また郵便払込取扱票は、定期総会に参加される方が参加費を納入する場合にもお使いいただけます。その際は必ず通信欄の総会参加費に○を付けて、払い込み下さるようお願い致します。

株式会社 東北セイワ

代表取締役 森田 明孝

本社/福島県郡山市堤三丁目186番地
TEL 024-952-8355 FAX 024-952-8377
 E-mail:t-seiwa@topaz.plala.or.jp
 http://www.hkr.co.jp/touhokuseiwa

ビル総合管理 冷暖房機器保守管理・工事
 建築物設備管理保全業務 空調機器保守管理・工事
 消防防災設備保守管理・工事 省エネルギー工事
 特殊建築物調査/建築設備検査 節水システム販売・工事
 建築物環境衛生管理業務 防犯設備/住宅火災警報器
 水道工事/管工事 造園設計施工

プロパンガス・灯油販売・水道工事・下水道工事
フレンドホーム 正しい家づくり ①②③ 通気断熱WBI工法
 冷暖房設備工事・新築・リフォーム

SHIN SAN 株式会社 新産
 代表取締役 二瓶 剛一
 〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字石堂4
 TEL(024)922-4815 TEL(024)934-1430
 http://www.sin3.jp
 E-mail shinsanfriend@y4.dion.ne.jp



第11回 北嶺祭の様子

クラス展示	同窓会	吹奏楽部
写真部	パフォーマンス	美術部
PTA	図書・JRC委員会	模擬店

ゴルフコンペのご案内

- 平成23年度も定期総会当日にゴルフコンペを開催いたします。
多数の参加をお待ちしております。参加をご希望される方はコンペ幹事までご連絡下さい。
- 日 時：平成23年6月25日(土) ●場 所：郡山ゴルフ倶楽部
- 定 員：約32名程度
- 申 込：コンペ幹事
佐々木郁雄(西50機械)
同窓会事務局
電話 024-932-1199
FAX 024-935-9849

事務局だより

本年度も皆様のご協力により会報を発行することができました。心より感謝申し上げます。
今回は第11回北嶺祭の写真を掲載しました。同窓生の皆さんも当時の北嶺祭(郡工時代は工業祭、西工時代は学校祭でした)を懐かしく想われたのではないのでしょうか。
会報送付は昨年同様、透明なA4サイズの封筒でおこないました。また、一般寄付の郵便払込取扱票も同封しました。皆様方の心温まるご支援ご協力をお願い申し上げます。
旧職員の方には、同窓生と同時に会報を送付させていただきました。会報第61号を持ちまして定期総会のお知らせに替えさせていただきます。同封しました一般寄付に於いても何卒ご協力のほどお願い致します。



有限会社 ワタナベ建装

本 社 〒963-8815 福島県郡山市水門町185-1
TEL024-943-0390(代表) FAX024-943-6748
☎ 0120-17-0390

マイクロバス(29人乗り)・ワゴン車(10人・8人乗り)・乗用車
ライトバントラック(軽・1t・2t)・アルミバン(2t・4t)・3t積車載車
冷凍冷蔵庫(軽・2t・3t積)の御用命は……

有限会社 郡山中央レンタカー

TOUGH あいおいニッセイ同和損保 代理店
MS&AD INSURANCE GROUP

代表取締役 渡邊 俊彦

郡山市富久山町福原字水尾沢19番地の3
☎ (024) 924-0844・932-8828
FAX (024) 934-5334 〒963-8061
URL: http://www.kcr.jp

発行所 福島県立郡山北工業高等学校同窓会
事務局 〒963-8052
福島県郡山市八山田二丁目224番 ☎024(932)1199 FAX024(935)9849

発行人 増子 久治
発行部数 18,000部
発行日 平成23年2月26日